

# 菊の会だより

“心を踊る”  
■  
菊の会は古典舞踊の  
研鑽に励み  
明日の新しい民族芸能の創造に  
情熱を燃やしています

[発行]  
舞踊集団 菊の会  
代表 畑道代  
〒151 東京都渋谷区初台1-45-6  
電話 03-3320-6001(代)



良いお年をお迎えの事と存じます。昨年創立二十周年は大変お世話になりました。お蔭をもちまして、記念祝賀会、友の会総会、教室発表会、自主公演「藍の女」、又会津公演、友の会旅行会と総ての行事を無事大成功に終える事が出来、今年新たな一年目の第一歩を踏み出す事が出来ました。ここにあらためて厚く御礼を申し上げます。



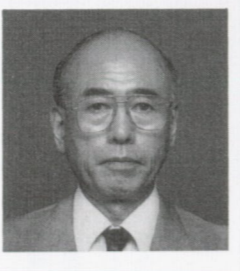
創作舞踊劇「藍の女」第六舞盆盆流し

## 新年明けまして お目出とうございませす。

舞踊集団 菊の会  
代表 畑道代

舞踊集団菊の会は昨年創立二十周年を無事おえられ、いまたの十年に向けてのスタートを切られたわけである。昨年の二十周年記念祝典はまことに目を見張るほどに盛大であった。この二十一年間に築かれた人脈の中の広さと深さは想像以上のものがあつた。それはそのまま実績の高さを物語るものであつた。まず心から敬意を表するとともに、微力な末枝細流ながら私もその人脈の中に加えていただいていたことを誇りに御礼申し上げたい。

尾上菊乃里、と申し上げるべきか、畑道代とお呼びすべきか、とにかく日本舞踊家として、振付家として、舞踊集団の総帥としてなどいくつもの立派な顔をお持ちである。集団の創設者総帥としては畑道代であるわけだが、菊の会の名称は尾上菊乃里の菊からだろうし、この集団の



## クリスタルな耀き

国立劇場調査養成部長  
西角井 正大

目的が自らずつと語られているように思う。日本舞踊の心と技法の上に畑道代自身のお考えを重ねて、新しい個性豊かな日本と日本人の世界に通用する舞踊の実現を目指されているに違いない。

日本人の生活をテーマにした菊の会の舞踊世界形成のモチーフには民俗芸能がふんだんに取り入れられている。民俗芸能が民族の生活の古典という意味で、あらゆる民族的芸能の基盤である、という深い認識に立脚されているためである。私が初めて畑先生にお会いしたのは菊の会創立以前の昭和四十五年の大阪万博の折であった。そして創立の翌四十八年には三隅治雄先生の助手としてお手伝いをさせていただいた。私は菊の会に国立劇場の五十八年の「日本の太鼓」六十二年の「日本の民謡」に民族舞踊で出演したかった。菊の会の舞台は畑先生のお人柄そのままにクリスタルな耀きに満ちている。厳しく温かな指導力と優れた会員の努力の賜物と思う。二〇〇二年の三十周年を期待してやまない。

# 心と心のかけ橋 友の会

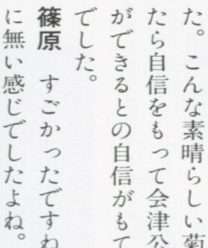
川幡 私も拝見しましたが、本当に圧倒される思いでした。一人一人の踊りが、集合体となるとこんなにも、みごとなものかと、何か輝くものを感じました。

司会 その後、鹿児島でも公演しましたが、皆さん大変喜んでくださいました。その勢いで二十周年記念祝賀会の準備に入り、これも大成功で終えることが出来ました。野中 とにかくすごかったですね。特に畑代表の言われた中です。いやあと感じさせて頂いた事は、「昔は、民謡が庶民の心だといわ



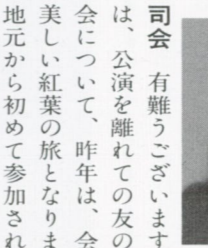
菊の会代表  
畑道代

川幡 私が祝賀会にお連れした方々の中には、初めて菊の会の催しに参加された方がたくさんいます。パーティーの熱気もさることながら、アトラクションのアイドホルルの新鮮さや舞台の素晴らしさ、また、若いエネルギーと迫力が、「これからは菊の会の舞台は、



富士宮友の会会員  
篠原もと子

是非、誘ってほしい。これからは菊の会を応援して行きたい。」と云って下さる方がたくさんいました。また、菊の会の踊りは、いつも私たちに新たな感動をあたえてくれます。その忘れられない一つに、華扇会での畑代表(尾上菊乃里)の「二人桜久」がありました。私は、踊りがあんなにも幻想的なものかとすごく感じました。尾上菊乃里さんとの踊りがあんなにも優しく愛情を表現出来るものかと涙があふれて止まらないものを感じました。



埼玉友の会会員  
川幡元子

司会 有難うございます。それは、公演を離れての友の会の旅行会について、昨年は、会津若松の美しい紅葉の旅となりましたが、地元から初めて参加された野中さんのご感想は、いかがでしたか。

野中 今までは、旅行会というところですが、菊の会の旅行会は、日ごろのお稽古の成果を見せて頂いて良かったです。

野中 法人と云うのがあることに気づいて、私の会社も法人ですから、今、法人の会員として入ろうと考えています。

畑 有難うございます。

野中 会津も、一人でも、二人でも友の会の会員を増やそうと言うことで頑張っています。そして、今年も畑代表に会津公演をして頂けるように努力したいと思っております。新たな思いで頑張っていますので、今年もよろしくお願ひ致します。

畑 ああ舞台は、客席の音が全く聞こえないんですよ。皆さんわらあいと静かだ、だからどうかなという感じがあつたんですけど、ものすごい拍手をしてくださって、本当に有難いと思えました。

篠原 私たちも何回も見せて頂いているにもかかわらず、本当に自分も踊れたら、一緒に踊り出したくなるような感動でした。

畑 そうですね。今だに、皆さんがあの時の感動を話して下さるんですよ。友の会も少しづつ増えて、最近では、法人会員を一生懸命啓蒙して下さる方が出て来られて……。

司会 皆様のお蔭で創立二十周年の佳節を無事に乗り越えさせて頂き有難うございました。今、お感じになってらっしゃる事、また、今年の抱負をお聞かせ下さい。

篠原 昨年を振り返って、英国ジャパンプエスティバル派遣記念公演では、私共としても一番大勢参加いたしました。富士方面の方たちも一緒に参加した。あれは、忘れられないですね。



会津友の会会員  
野中照男

それ、私と共に参加して下さい。佐瀬さんが、最初はあまり気が進まない様でしたが、お祝いの言葉をのべていらつしやる方々が皆さん素晴らしくして、しかも、皆さん菊の会を応援していらつしやる姿をみて、ガラッと変わりました。そして、「会津に帰ったら本気になってやる」といってくださいます。こんな素晴らしい菊の会だったら自信をもって会津公演の啓蒙ができるの自信ももてた祝賀会でした。

畑 会津公演には、東京からも皆一緒に来て下さり、すごい声援でびっくりしました。

篠原 本日に会津は、すごかった。舞台の途中で、どよめきが聞こえるんですよ。びっくりしたって言うんでしょうか、感激と感動の声だったと思います。

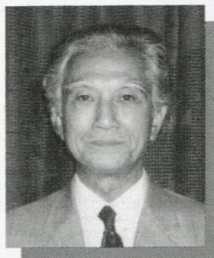
畑 何分の一もかえせてなくて申し訳ないと思つて居ります。

野中 会津公演を実現するまでに色々な事がありました。そのたびに佐瀬さんや佐藤さんが力になって下さり、お二人がいなければ、挫折してどこでつまずいていたか解らないかんじてました。やっぱり男性で、一緒に動いて下さる方がいたと言うことが、本当に有難いことだと思つて居ります。会津公演は、本当に素晴らしい公演だったと思います。

# 21世紀に向けて新なる飛躍を

村上 光彦

舞踊集団「菊の会」が産声を上げたのは、昭和四十七年であった。代表の畑道代さん(尾上菊乃里)が日本の誇る伝統芸能を守るとも、明日への新境地を目指して奮闘したのである。それから二十数年、幾多の困難を乗り越え、輝かしい成果のもとに昨年五月記念の祝賀会を開催したのは記憶に新しい。



創立以来苦楽を共にされたお弟子さんをはじめ、同志のスタッフや後援会の方々の感激はこの上もないものであったに違いない。実際のところ当初は、情熱に燃えた若

い舞踊集団が、果してどのようになり、また何時まで続けられるだろうか、というのが周囲の眼であった。私自身も残念ながら第一回の公演は拝見していない。五十年代に入ってから初めて観る機会を得たが、若い人々のエネルギーが舞台いっぱい溢れ、爽やかな、そしてダイナミックな群舞などは多くの観客の心を捉え魅了していた。私も永年舞踊界に関係していながら、つい流派の違いや振りの良し悪しばかりを気にして大衆が何を求め何を喜ぶかを忘れがちになってしま

菊の会はこの二十年間、国内はもとより、諸外国をめぐり、日本の正しい伝統芸能を紹介すると共に各地の風習や生活の実態にふれ、交流を持ち、また踊りを通して国際親善を進めてこられたことは大

きな収穫であり、きわめて意義深いことであった。二十世紀に近づきつつある今日、日本の舞踊界も良いものを残し、次第に変化しながら前進している。人々に親しまれ、愛され、理解される舞台と、品格を失わない踊りの心を大切にしたいものである。発足当時は何もかも夢中でし

た。と語る会の方々が、今は見事に咲いた「菊の花園」の立派な舞踊家として成長されたことはなんと素晴らしいことであろう。二十周年は一つの節目であり、二十一世紀へ向けての跳躍台、小休止ではなく、これからが正念場である。畑代表を中心に菊の会の一層の御発展、御活躍を祈ります。(東京新聞舞踊担当)

「四季舞花絵姿」の花売り



ひまわりグループ研修会



# この一年感謝の思いをこめて!一人一人が大輪の菊花に!

## 新たな時代の民族芸術の創造を目ざして創立

菊の会は昨年創立二十周年を迎え、今年には新たな第一歩を踏み出した。最近では創立当時の事を御存知ない方も増えたので、ここに改めて「菊の会」について御紹介申し上げたいと思います。

## 新鮮な感動を

### 予えた「藍の女」

昨年の「藍の女」は各地大好評を頂きましたが、これは何んと云っても三隅治雄先生の作品が素晴らしい事につきると思います。邦楽と舞踊の平野英俊氏より「唄の面白さに感動いたしました。菊の会の一体感で、見事な舞台でした。特に印象深いのは、主演の畑道代のお役が、真にせまっています。すごい」と思った。特に、「よしこの



創作舞踊劇「藍の女」第二景京の夏 芸妓・松葉(畑道代)



創作舞踊劇「藍の女」第七景街道門付に「関ぞろ」を踊る お葉(畑道代)とアメ売り伝介(原聡)

教室発表会第三部「演歌に舞う」のまつり

それを基礎に広く人々の心を豊かにする民族芸術の創造を目ざし、昭和四十七年(一九七二年)に畑道代によって創立された舞踊集団です。

菊の会では古典舞踊教室をはじめ、舞踊家を目指す若獅子グループ(男性)、天舞グループ(女性)、仔鹿グループ(男子)、ひまわりグループ(女子)又、講師となるための指導員教室の各グループとグループごとに稽古が行われています。

## 大輪の花を咲かせる

### 「教室発表会」

又、各地域での菊の会舞踊教室も活発に行われ、年に一度の発表会が毎年盛大に行われています。昨年は創立二十周年記念公演として演目も三部構成で、第一部は一幕十三景からなる古典舞踊の華やかなもので音楽は大和楽でタイトルは「四季舞花絵姿」と題し総勢二十五人があてやかさを競いました。

又、最近では学校公演に力を入れています。若い世代に日本の音楽や舞踊を観てもらおう事は最も重要な事で、同世代の観客をふやす事に努めています。その結果この度若手メンバーが卒業した学校で公演する機会を頂き大変よろこんで頂きました。

## 若い世代に共感を呼んでいる学校公演

第二部は俗曲、民謡集、第三部は演歌に舞うそれぞれが日頃の成果を存分に発揮していました。第一回目からの発表会をふり返りますと大きな進歩の後がうかがえます。

又、最近では学校公演に力を入れています。若い世代に日本の音楽や舞踊を観てもらおう事は最も重要な事で、同世代の観客をふやす事に努めています。その結果この度若手メンバーが卒業した学校で公演する機会を頂き大変よろこんで頂きました。

## 会津若松公演

昨年の棹尾を飾った思い出に残る公演として会津若松での自主公演があげられるが、こうした地方での膝をつき合せての舞台と観客の一体感是最も大切なものだと思います。

## 古典舞踊のお知らせ

- 踊り初め/一月十日
- ゆかた会/七月二十五日
- 華扇会/九月七日・九日

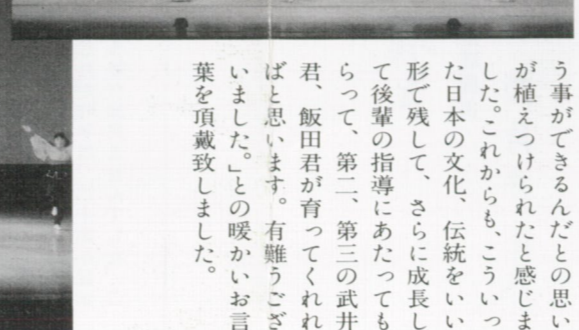


長唄「二人椀久」 榎屋久兵衛の畑道代と松山太夫の尾上菊音さん

## 若手育成の研修会

今後の課題として次の時代の舞踊家の育成と若い世代の観客づくりとは最も欠かせないことだと思います。

若手男女の育成については女性のひまわりグループにとくに昨年から力を入れています。男性のニュー・若獅子のメンバーも様々な勉強を行っています。



「若手育成の研修会」の総踊り

教室発表会第二部「菊の会俗曲民謡集」の秋田お祭り

## 菊の会の

### 新スタジオの御案内

現在菊の会のスタジオ及び事務所は京王新線の初台駅から徒歩5分の山手通りに面した所にある事は御承知の通りですが、山手通り拡張にもないスタジオが移転を迫られ、沢山の方々のお力添えを頂いた結果、ようやくこの程西武新宿線の新井薬師駅下車徒歩6分の新宿区西落合二丁目決定する事が出来ました。長い間決らず、皆様が大変御心配をおかけしましたが、様々な条件に合った所が見つかりましたのでここに御報告申し上げますと共に、心から厚く御礼を申し上げます。